

①上位の政策名	政策目標7 スポーツの振興	
②施策名	施策目標7-1 生涯スポーツ社会の実現	
③主管課 及び関係課 (課長名)	(主管課) スポーツ・青少年局生涯スポーツ課 (課長: 鈴木 隆)	
④基本目標 及び達成目標	<p>基本目標7-1 (基準年度: 13年度、達成年度: 22年度) 国民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現する。</p> <p>【進捗状況の判断基準】 ア=成人の週1回のスポーツ実施率が50%以上 イ=各達成目標が「想定どおりに達成」もしくは「概ね順調に進捗」 ウ=達成目標に「一定の成果が上がっているが、一部については想定どおりに達成できなかった」もしくは「進捗にやや遅れが見られる」が見られる エ=達成目標に「想定どおりに達成できなかった」もしくは「想定したとおりには進捗していない」が見られる</p> <p>達成目標7-1-1 (再掲) (基準年度: 13年度、達成年度: 22年度) 国民の誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことができる場を広げる取組を推進する。</p> <p>【達成度合い(進捗状況)の判断基準】 ア=新たに育成されている総合型地域スポーツクラブ数が200以上、かつ新たにクラブを育成している市区町村数が200以上 イ=新たに育成された総合型地域スポーツクラブ数が200以上 ウ=新たに育成された総合型地域スポーツクラブ数が180以上200未満 エ=新たに育成された総合型地域スポーツクラブ数が180未満</p> <p>達成目標7-1-2 (基準年度: 13年度、達成年度: 22年度) 国民のスポーツ参加を促進するため、スポーツに関する普及啓発を進める。</p> <p>【達成度合い(進捗状況)の判断基準】 全国スポーツ・レクリエーション祭への参加者数の開催都道府県人口に占める割合 ア=27.8%以上 イ=22.8%以上27.8%未満 ウ=17.8%以上22.8%未満 エ=17.8%未満</p> <p>達成目標7-1-3 (基準年度: 13年度、達成年度: 22年度) 国民のニーズに対応した質の高いスポーツ指導者の養成・確保を推進する。</p> <p>【達成度合い(進捗状況)の判断基準】 「スポーツ振興基本計画」に基づき行うスポーツ指導者養成事業に係る見直しの進捗状況 イ=スポーツ指導者養成事業について見直しを行った。 ウ=スポーツ指導者養成事業について見直しを行っていない。</p>	<p>達成度合い又は進捗状況</p> <p>概ね順調に進捗</p> <p>想定どおり達成</p> <p>想定どおり達成</p> <p>想定どおり達成</p>
⑤各達成目標の現状の分析と今後の課題	<p>達成目標7-1-1 【平成17年度の達成度合い】 多世代、多種目、多志向という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブである総合型地域スポーツクラブの育成・支援に取り組んでいる。平成17年7月現在、前年度より総合型地域スポーツクラブは1,038クラブ増加し、総合型地域スポーツクラブを育成している市町村は81増加しているので、想定どおり達成したと判断。</p> <p>達成目標7-1-2 【平成17年度の達成度合い】 国民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、国民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動を振興するため、全国スポーツ・レクリエーション祭を岩手県で開催した。参加者は延べ32万人であり、岩手県の人口に占める割合は23.0%であるため想定どおり達成したと判断。</p> <p>達成目標7-1-3</p>	

	<p>【平成 17 年度の達成度合い】</p> <p>文部科学大臣認定のもとに各スポーツ団体が実施していたスポーツ指導者養成事業が、国民のスポーツニーズの変化に十分答えられなくなってきていることから、「スポーツ振興基本計画」において当該認定制度の見直しを行うこととしている。また、「公益法人に対する行政の関与のあり方の改革実施計画」（H 14.3.29 閣議決定）において、公益法人の行う事業に対する国の認定等について平成 17 年度限りをもって一律に廃止するなど措置を講ずることされている。これらを踏まえ、スポーツ指導者養成事業の認定制度を遅滞なく廃止し、さらに、今後の指導者養成の在り方について、（財）日本体育協会と各スポーツ団体において指導者養成制度の見直しを実施しているため、想定どおり達成したと判断。</p>
施策目標（基本目標）の達成度合い又は進捗状況	<p>【平成 17 年度の達成度合い】</p> <p>内閣府の「体力・スポーツに関する世論調査」は 3 年ごとに実施されるため、平成 17 年度における成人の週 1 回のスポーツ実施率に基づき判断することはできない。各達成目標の達成度合いから判断すると、7-1-1 は「想定どおりに達成」、7-1-2 は「想定どおり達成」、7-1-3 は「想定どおり達成」であるため、基本目標 7-1 は「概ね順調に進捗」と判断。</p>
今後の課題（達成目標等の追加・修正及びその理由を含む）	<p>達成目標 7-1-1</p> <p>平成 12 年に策定した「スポーツ振興基本計画」における平成 22 年度までに全国の各市区町村において少なくとも 1 つは総合型地域スポーツクラブを育成するという目標達成のため、引き続き各種事業に取り組んでいく必要がある。</p> <p>達成目標 7-1-2</p> <p>日本全国においてスポーツ・レクリエーション活動を振興するため、引き続き全国スポーツ・レクリエーション祭等の普及啓発事業を開催していく。</p> <p>達成目標 7-1-3</p> <p>質の高い技術・技能を有するスポーツ指導者の養成や効果的な活用方法について、スポーツ団体や地方公共団体における現状と課題を踏まえつつ、実践的な調査研究を行う。</p>
評価結果の 18 年度以降の政策への反映方針	<p>総合型地域スポーツクラブの全国展開を図るため、平成 19 年度より総合型地域スポーツクラブの意義を直接広報的に広報するフォーラムを開催するなど、生涯スポーツ社会を実現するために必要な施策を引き続き実施する。また、スポーツ指導者の養成・確保については、スポーツ指導者が活用されるシステムづくりに取り組むため、スポーツ指導者養成・活用に関する調査研究を行う。</p>

⑥指標	指標名	13	14	15	16	17
	成人の週 1 回のスポーツ実施率 （基本目標 7-1 関係）	—	—	38.5%	—	—
	総合型地域スポーツクラブ数 （達成目標 7-1-1 関係）	—	541	833	1,117	2,155
	総合型地域スポーツクラブを育成している市区町村数 （達成目標 7-1-1 関係）	—	426	558	702	783
	全国スポーツ・レクリエーション祭参加者数の開催都道府県人口に占める割合 （達成目標 7-1-2 関係）	62.4%	16.0%	30.4%	36.1%	23.0%
参考指標	総合型地域スポーツクラブ育成推進事業に基づき育成されている総合型地域スポーツクラブ数 （達成目標 7-1-1 関係）	—	—	—	236	431
	クラブマネジャー養成講習会参加者数 （達成目標 7-1-1 関係）	105	151	155	181	187
	全国スポーツ・レクリエーション祭参加者数（万人） （達成目標 7-1-2 関係）	116	46	34	30	32
	全国スポーツ・レクリエーション祭開催都道府県の人口（万人） （達成目標 7-1-2 関係）	186	288	102	83	139
⑦評価に用いたデータ・資料・外部評価等の状況	全国スポーツ・レクリエーション祭参加者数は延べ数である。					
⑧主な政策手段（過去に新規・拡充事業評価を実施し、平成	政策手段の名称 （上位達成目標 [17 年度予算額]	政策手段の概要			17 年度の実績 （得られた効果、効率性、有効性等）	
	総合型地域スポーツクラブ育成	民間スポーツ団体の活用による住民主導型の総合型地域スポーツクラブ			431 クラブが育成されつつある。	

18年度に 達成年度が 到来する事	推進事業 (達成目標7-1-1) [1,366百万円]	育成を推進する。	
	全国スポーツ・ レクリエーション 祭開催事業 (達成目標7-1-2) [154百万円]	広く国民にスポーツ・レクリエーション活動を全国的な規模で実践する場を提供することにより、国民1人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、もって国民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の振興を図る。	平成17年10月に岩手県で開催され、選手団、大会運営に携わる県民参加者を含め32万人が参加した。
	スポーツ指導者の 知識・技能審査 事業の認定に 関する規程及び スポーツ指導者 の知識・技能審 査技能の名称等 に関する省令の 廃止 (達成目標7-1-3)	「公益法人に対する行政の関与のあり方の改革実施計画」(H14.3.29閣議決定)に基づき、スポーツ指導者の知識・技能審査事業の文部科学大臣認定制度を定めている左記省令を平成17年度中に廃止する。	平成18年4月1日に省令を廃止した。
⑨備考			
⑩政策評価 担当部局 の所見	※スポーツ指導者の質を把握するための指標を設定することを検討すべき。		

施策目標7-1(生涯スポーツ社会の実現) 平成17年度の実績評価の結果の概要

総合型地域スポーツ
クラブ育成推進事業
1,366百万円

<達成目標7-1-1>
国民の誰もが生涯にわたりスポーツに親しむ
ことができる場を広げる取組を推進する。
→前年度より総合型地域スポーツクラブは
1,038クラブ増加し、総合型地域スポーツクラ
ブを育成している市町村は81増加しているの
で、想定どおり達成

身近な地域社会
に、地域住民の主
体的運営を目指
す総合型地域ス
ポーツクラブが育
成されることにより、
それぞれの地域
住民のニーズを踏
まえ、スポーツに
親しめる機会を、
定期的・継続的に
提供することが可
能。

全国スポーツ・レクリ
エーション祭の開催
154百万円

<達成目標7-1-2>
スポーツ参加促進のために普及啓発を行う。
→全国スポーツ・レクリエーション祭への参加
者数の開催都道府県人口に占める割合が過
去の平均を超えており、想定どおり達成

生涯スポーツ振興
関係者間で意見
交換を行い、相互
理解を深めること
で、協調・協力体
制の強化と生涯ス
ポーツ振興機運の
向上が図られた。

「スポーツ振興基本
計画」に基づくス
ポーツ指導者養成
事業の見直し

<達成目標7-1-3>
スポーツ指導者の養成・確保を行う。
→スポーツ指導者養成事業の認定制度を遅
滞なく廃止し、(財)日本体育協会と各スポ
ーツ団体において指導者養成制度の見直しを
実施したので、想定どおり達成

優れた資質を有す
るスポーツ指導者
を養成・確保す
るための方策が図
られた。

基本目標 国民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じ
て、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯ス
ポーツ社会を実現する。
↓概ね順調に進捗